

3. 日本語教育学位取得プログラム（言語社会研究科第2部門）

本プログラムは、高度の専門性と国際性を備えた日本語教育者を養成することを目的として、2005年4月に当時の留学生センター、言語社会研究科、国立国語研究所の3者が連携する連携講座として、言語社会研究科の中に開設されたプログラムである。日本語教育の専門的な知識や技能にくわえ、日本語学の素養、日本の社会と文化に関わる幅広い知識を身につけた日本語教育者を輩出している。

2017年度からは、「日本語教育学位取得プログラム修了証」の取得要件を、法務省の策定した「日本語教育機関の告示基準」(平成29年8月1日施行)を満たすものにするべく、同プログラムの内容を改定した。また、2021年度からは、言語社会研究科第1部門の科目から9科目、社会学研究科の科目から11科目を、新たにプログラム対象科目に加え、より広範囲な科目群の中での学びが可能となった。なお、従前通り、言語社会研究科第2部門の修了要件と日本語教育学位取得プログラム修了証取得要件とは全同ではない。

2007年4月には定員4名の博士課程のプログラムも設置され、2022年3月末現在、50名の博士学位取得者が生まれている。2021年度の博士学位取得者は、以下の6名である。

劉 倩卿 (リュウ セイキョウ)	(2021年 7月)	<庵研究室>
石原 佳弥子 (いしはら かやこ)	(2021年 11月)	<庵研究室>
雍 婧 (ヨウ セイ)	(2022年 3月)	<西谷研究室>
二子石 優 (ふたごいし ゆう)	(2022年 3月)	<イ研究室>
沖本 与子 (おきもと ともこ)	(2022年 3月)	<山崎研究室>
王 慧雋 (オウ ケイシュン)	(2022年 3月)	<石黒研究室>

日本語教育学位取得プログラムの概要

定員 10名 (修士課程) 4名 (博士課程) 学位 修士 (学術)・博士 (学術)

担当者:

コアスタッフ (演習を担当し、指導教員となる教員)

国際教育交流センター1: 太田 陽子、西谷 まり、柳田 直美

言語社会研究科 : イ・ヨンスク、松原 真

国立国語研究所 : 石黒 圭、小磯 花絵、山崎 誠

サポートスタッフ (講義を担当する教員)

国際教育交流センター: 阿部 仁

全学共通教育センター: 太田 浩

国立国語研究所 : 松本 曜

非常勤講師 : 岩崎 拓也、奥野 由紀子、高 恩淑、村上 佳恵

表1 2021年度修士課程入学者（入学試験志願者・合格者）内訳

	受験者	合格者	入学者
一般	10	3	3
留学生	36	7	6
日本語教育経験者	5	1	1
合計	51	11	10

表2 2021年度博士課程入学者（入学試験志願者・合格者）内訳

	受験者	合格者	入学者
進学	2	2	2
編入	7	0	0
合計	9	2	2

本プログラム対象科目は、次ページ表3のとおりである。

【日本語教育実習（国内）】

2021年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で従来の実習対象科目の開講が危ぶまれたため、下記科目の見学・教育補助を行いつつ、そのなかで教壇実習を行う形式に変更された。授業は、オンラインと対面授業のハイフレックス方式で実施された。

実施期間：秋冬学期

実施場所：一橋大学国際教育交流センター

科目名と実習生数：

日本語教育実習 A 実習対象科目：「日本語中上級（口頭表現）」

指導教員：柳田 直美 実習生：2名

日本語教育実習 B 実習対象科目：「日本語中上級（文法）」

指導教員：太田 陽子 実習生：4名²

日本語教育実習 E 実習対象科目：「日本語上級（読解）Ⅱ」

指導教員：西谷 まり 実習生：2名

【日本語教育実習（海外）】

ベトナムにおける教育実習は新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となった。

台湾における教育実習は、Microsoft Teams を利用し、オンラインで行われた。

実施期間：（講義・実習準備）秋冬学期

（実習）12月17日（金）－27日（月）

実施場所：台湾・東呉大学／一橋大学国際教育交流センター（オンライン）

指導教員：太田 陽子 実習生数：3名

表3 日本語教育学位取得プログラム対象科目

分野／開講部局	対象科目 (◎は言語社会研究科第一部門、☆は社会学研究科 開講科目)	開講
I. 社会・文化・地域	比較文化学講義A(松原 真)(明治文学)	春夏
1. 世界と日本	比較文化学講義B(糟谷 啓介)(異文化コミュニケーション)	春夏
2. 異文化接触	日本語教育学講義B(太田 浩)(日本と世界の留学生政策)	春夏
3. 日本語教育の歴史と現状	日本文化論A(中司 由起子)(能楽の歴史と作品)◎	秋冬
4. 日本語教員の資質・能力	難民・移民政策論(橋本 直子)☆	春夏
	国際社会学特論(小井土 彰宏)(国際移民研究)☆	春夏
	グローバル化と教育(原田 亜紀子)☆	春夏
	アジア社会史特論A(加藤 圭木)(日韓関係)☆	春
	グローバル化と移動社会(多田 治)☆	春夏
	文化表象論(沢辺 満智子)☆	秋冬
	開発援助の諸問題／社会開発論A(上田 元)☆	春
II. 言語と社会	多言語社会論(三ツ井 崇)(近代朝鮮の言語と文化)◎	春夏
1. 言語と社会の関係	社会言語論A(糟谷 啓介)(言語学と文学史)◎	秋冬
2. 言語使用と社会	社会言語論B(イ ヨンスク)(越境する言語と文化)◎	秋冬
3. 異文化コミュニケーションと社会	日本語学講義C(柳田 直美)(談話分析入門)	春夏
	言語政策論(安田 敏明)(『顕在化する多言語社会日本』を読む)◎	春夏
	言語と社会A(イ ヨンスク)(アジアをつなぐ言葉と文化)◎	春夏
	言語と社会B(松岡 昌和)(多言語社会におけるリテラシー)◎	春夏
	文化交流の技法と実践(本田 修)☆	秋冬
	国際協力の実務と方法(佐々木 弘世)☆	秋冬
III. 言語と心理	日本語教育学講義F(阿部 仁)(異なる文化を受け止める)	秋冬
1. 言語理解の過程	日本語教育学講義K(奥野 由紀子)(第二言語習得と教室指導)	秋冬
2. 言語習得・発達	異文化理解の理論と実践(小田 隆史)☆	冬3
3. 異文化理解と心理	多文化社会の人間形成(大島 岳)☆	春夏
IV. 言語と教育	日本語教育学講義A(西谷 まり)(日本語教授法)	秋冬
1. 言語教育法・実技(実習)	日本語教育学講義C(阿部 仁)(参加型学習法)	春夏
2. 異文化間教育・コミュニケーション教育	日本語教育学講義G(太田 陽子)(日本語教育学概論)	春夏
3. 言語教育と情報	日本語教育学講義J(太田 陽子・柳田 直美)(国内実習準備)	秋冬
	日本語教育実習A(柳田 直美)(国内実習)	春夏
	日本語教育実習B(太田 陽子)(国内実習)	春夏
	日本語教育実習C(西谷 まり)(海外実習・ベトナム)→休講	休講
	日本語教育実習D(太田 陽子)(海外実習・台湾)→実習はオンライン	秋冬
	日本語教育実習E(西谷 まり)(国内実習)→2021年度のみ開講	春夏
V. 言語一般	日本語学講義A(松本 曜)(認知意味論)	秋冬
1. 言語の構造一般	日本語学講義B(高 恩淑)(日本語学入門)	春夏
2. 日本語の構造	日本語学講義D(岩崎 拓也)(コーパス言語学入門)	秋冬
3. コミュニケーション能力	日本語学講義E(村上 佳恵)(日本語教育文法研究)	春夏
	日本語教育学講義H(柳田 直美・太田 陽子)(やさしい日本語の諸相)	秋冬
	社会言語学入門(荒井 幸康)◎	春夏
	一般言語学入門(吉田 夏也)◎	春夏

(文責：太田 陽子・庵 功雄)

1 2021年度は、庵 功雄教授のサバティカルのため、3名による指導体制となっている。
2 来日できない実習生1名は、オンラインにより、事前指導・実習・振り返りに参加した。